備　前　市　事　務　事　業　評　価　シ　ー　ト

（平成25年度事業）

事業の概要

事業開始年度		昭和４７年度		根拠法令・例規等	該当なし	
総合計画	大項目	基本構想	05 生活環境政策「快適・活力」	問合先	担当課（室）	産業振興課
	中項目	基本計画	07 地域の活力を生む産業を振興させるまち		職・氏名	係長　松　下　広　信
	小項目	施　策	25 魅力ある農林業の推進		電　話	０８６９－６４－１８３１
事務事業名			07 畜産振興事業	このシート作成に要した時間		2.0　時間

Plan

事業の目的

対　象（誰・何に対して）	畜産農家、畜産農家周辺の市民
目　的（何のために）	環境に配慮した畜産経営体の育成。
事業の意図する成果（どのような状態にしたいのか）	環境に配慮した畜産経営を促進する。

Do

事業の実績

目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	畜産振興事業	家畜保健衛生所等関係機関と協力し、適正な畜産経営が展開されるための指導を実施。また、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応する。	○

決算額

		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	0	0	0
	必要人員 人件費		0.05人 303	0.04人 348	0.04人 317
	事業費計		303	348	317
財源	国県支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
	その他（　）				
	一般財源		303	348	317
受益者負担比率		%	－	－	－

結果指標

結果指標	結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
	説明		畜産農家戸数		
	結果指標量	戸数	9	8	8
	対前年比	%	100.0%	88.9%	100.0%
	活動コスト	円	303,000	348,000	317,000
	単位当たりコスト		33,667	43,500	39,625

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の成果

成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
畜産農家戸数	目標値（A）	－	－	－	－
	実績値（B）	9	8	8	到達目標値
	達成率（B/A）	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	8

成果指標設定の考え方・式や説明

Check

事務事業の評価

該当する項目を□から■へ　＜　■ ←「コピー」して「貼り付け」してください ＞

妥当性の評価

市の関与の妥当性必要性

- □ 市が実施するよう法令で義務づけられている
- □ 法令で義務づけられてないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす
- □ 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない
- □ 事業の内容が一部の受益者に偏っている
- □ 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている
- ■ 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である
- □ 事業開始当初の目的から変化してきている
- □ 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている
- □ 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある

市民ニーズ

- □ 市民・団体等から要望・要請が強い

妥当性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

効率性の評価

コスト手段

- □ 単位当たりコストは前年度と比較して改善している
- □ 実施方法（派遣・委託含）を見直すことでコストを下げる余地がある
- □ 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある
- □ コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい
- □ 受益者負担率は適正である
- □ 受益者負担率を見直す余地がある
- ■ サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない
- □ 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある
- □ 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている

効率性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**B**

有効性の評価

目的達成度

- ■ 成果指標の設定は適切である
- □ 成果指標の到達目標値は達成できそうである
- □ 成果指標達成率は前年度と比較して向上している
- □ 成果指標達成率は80%未満となっている
- □ 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない

市民参画度

- □ 法定事務 ・ 内部管理事務　であり成果は求めにくい
- □ 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している
- □ 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している

有効性評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しな

進行年度（H26年度）の改革改善内容

状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					

説明：高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応については、関係機関との連携を図りながら、畜産農家への指導を今年度も継続して実施してする。

総合評価

環境に配慮した畜産経営に向けての指導は畜産振興を図る上で必要であり、今後も関係機関との連携を密にして実施していく。畜産農家の増加を求めるのは困難であるため、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応には万全を尽くしていく。

総合評価（A高い / B やや高い / C 普通 / D やや低い / E 低い）：**C**

Action

平成27年度の方向性・取組目標

方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
			○				

取組目標：今後とも、畜産農家の増加を求めるのは困難であるため、高病原性鳥インフルエンザ等の防疫に対応には万全を尽くしていく。